

## 【1月30日（月）好奇心を大切にしよう】

元気よく朝の挨拶をしましょう。おはようございます。

先週の1月25日の開校記念日で、滝坂小学校は150周年を迎えました。明治時代に小学校という制度が初めてできた年に生まれた学校です。みなさんは150周年という記念すべき年にこの学校にいるわけです。素晴らしいことですね。

さて早いもので今週の水曜日から2月になります。2月4日は立春といって暦の上では春が始まる日です。寒い日が続きますが、確実に春に向かっていきます。立春の前日は節分と呼ばれています。節分の日には豆まきをして鬼を外に追い払いますが、季節の分かれ目は体調を崩しやすいので、悪い物を鬼に例えて追い払う行事となったと言われています。

日本には昔から色々な行事がありますが、いつからどんな理由で始まったのか調べてみるととても面白いです。このように、知らないことや不思議なことに興味をもつ気持ちを好奇心といいます。赤ちゃんが、回りのものを何でもさわったり口に入れたりしてしまうのは、初めて見るものに好奇心があるからです。お話ができるようになると「あれ何？これ何？なんで？」などと何でも聞きたがるのも好奇心です。学校では「分からない」「どうしてだろう」というそれぞれの問題を本で調べたり、実験したりしながら解決する方法を学んでいます。また、ひとつの問題を解決すると、さらに新しい問題に向かっていくように好奇心はどんどん高まっていきます。

大昔から人間が好奇心を持ち続けてきたからこそ、今の私たちの生活があると言えます。3年生は、郷土博物館の方に来ていただいて昔の道具や暮らしについて学習しましたね。たとえば、洗濯の道具をみてみましょう。昔は、たらいや洗濯板を使って洗濯をしていた時代がありました。でも、それに満足せずに、もっと便利に、もっと快適に、と考えて洗濯機が発明されました。そして、人間がつねに好奇心をもって研究を続けることで、その時代にあった、よりよい道具を生み出してきたということが言えるでしょう。

みなさんが、「なぜだろう」「不思議だなあ」「調べてみたい」とつねに考えることが新しい時代を創っていくことになるのです。みなさんの脳は考えれば考えるほど成長します。自分の脳を育てるのは自分なんです。

今日は、好奇心をもとうというお話をしました。

以上でお話を終わります。（礼）

